



敬之
敬之

高畑の家

えと文

玉井敬之

私は奈良が好きだ。とくに高畑の辺りは身近に感じるからだろうか、心が休まる。破石から滝坂にむかうゆるい坂道には古い家並みが続いている。春日、高円の山が神々しい。また路地の間から姿をみせている生駒の山が好ましい。

その道からやや奥まったところにこの家がある。門の格子戸には「鹿が入りますから閉めて下さい」という小さい木札が括りつけてある。その格子戸をあける。前栽には馬酔木の花が咲いている。私は玄関の前に立つ。「ご免下さい」というと、「はあい」と返事があって中から足音が聞えてきた。